



平成24年12月3日

卓話 『安全は誰が守るもの?』

評論家／公益財団法人大宅壮一文庫 理事長

大宅 映子 様

皆さんこんにちは。日本には安全神話という言葉があるのね。全き安全はあるという神話。これは東電とか政府が言い募る。片やゼロリスク、絶対リスクあっちゃならない。どっちもあり得ない話です。

原発も事故のシミュレーションをやるべきです。日本はやらないんですよ。言霊があるからそんなことをやったら悪いことが起きちゃう。避難訓練をやろうとすると、じゃあそういう事故が起きるんですねって反対派に言われるからしなかった。そのおかげで信じられないことが重なってあんなことになってしまった。

日本の安全思想というのは誰かが守ってくれるという発想です。危険なものはないことにしておく。私、これ元は山口二矢が浅沼さんを刺したときだと思っています。あれで学校にナイフを持って行くのが禁止になった。鉛筆削れなくなったんですよ。こんなバカなって私思いました。刃物は切れるから役に立つんです。お野菜も切れるし鉛筆も削れるけど人を刺すことも可能。それを子どもに教えなくちゃしょうがないじゃないですか。

今度の選挙は本当に個人の責任を問われるものだと思うんです。選ぶ人がいないって言うけど、貧しい選択であろうが少しでもましな方で選ぶしかない。私は野田さん悪くないって思います。このところの総理の中で一番大人の顔をしてる。小泉さん5年で安倍さんが365日。福田さんは364日。麻生さんで選挙に負けて、あっと驚く民主党政権ですね。鳩山さんは最低でも県外、アメリカにはトラスト・ミー。どっちも駄目で266日。菅さんは最小不幸社会って言ったけど、あの人が

地震のときに宰相(最小)だったのが最大の不幸だった。で、野田さんが現れて国民がどう審判を下すか。嘉田さんを引っ張り出したのはなかなかのセンスだけど、あれは小沢さんが自分の命を永らえるためにやったこと。

コメの輸入問題。ミニマムアクセスで細川さんの時に6兆のお金を農家に付けた。日本の農業が強くなるためならいくら使ってもいいけど何に使ったと思いますか。山形ではそのお金でダチョウを買った。南アフリカから持ってくるのに1億ぐらいかかる。私は納税者として許せない。でも6兆付いちゃったから遣わなきゃいけないってダチョウですよ。TPPで日本の農業が駄目になるんじゃないんです。新規参入でいくらでも新しい方向作れるのに既得権持ってる人の大声でこの国は動かされてしまっている。

大事なのは我々一人一人の声なんです。自分の安全は自分で守る。その上に立って国の運営にも参画しなきゃいけない。声を挙げたら石が飛んでくるかも知れないけど、そのリスクを負わないで政治がいかれてると言ってもね。劣化してるのは政治だけじゃない、みんなが劣化してるし私には思えない。どうか個人が強くなるように。そのためにも自分の安全は自分で守るというコンセプトは子どもたちに伝えていかなきゃいけないと思います。

ありがとうございました。

